

決算特別委員会各分科会における概要

【総務分科会】

- ◆ 10月25日（金）開会 午前10時00分
（休憩 午前11時06分～11時14分）
閉会 午後 0時03分
- ◆ 10月28日（月）開会 午前10時00分
（休憩 午前11時10分～11時17分）
閉会 午前 0時35分
主 査 五十嵐 智洋（自由民主党）
副主査 小松 伸也（自由民主党）

◆付託決算

- ・ 令和5年度山形県一般会計歳入歳出決算中本分科会所管分
- ・ 令和5年度山形県公債管理特別会計歳入歳出決算
- ・ 令和5年度山形県市町村振興資金特別会計歳入歳出決算

◆審査内容

付託決算の審査にあたっては、総務部長、みらい企画創造部長、防災くらし安心部長及び会計管理者から決算の概要及び主要な施策の成果と実績について、担当次長及び課長から内容の詳細について説明を聴取し、質疑を行った。

◆採 決

付託された3決算については、全員異議なく、認定すべきものと決定した。

（主に議論された項目）

- ◇ 県の戦略的広報の実施状況について。また、ホームページやSNS等の多様な媒体を用いた情報発信が主流になっているが、それらのアクセス実績及びその評価について
- ◇ 『知事と若者の地域創生ミーティング』及び『知事のほのぼの訪問』の成果について。また、訪問時に出された意見等を県の施策に反映していくことが重要と考えるがどうか
- ◇ 県内における防災備蓄物資の配備状況について。また、防災備蓄物資については地元の農家や企業が生産したものを利用すべきと考えるがどうか
- ◇ 地方消費税の決算の概要及び地方消費税を財源としている主な施策について
- ◇ 県内の外国人留学生の受入状況について。また、今年度策定予定の『多文化共生推進プラン（仮称）』における留学生の受入拡大やグローバル人材の育成に向けた取組みの位置付けについて
- ◇ 令和5年度の内部統制制度の運用状況及びその成果について。また、それらに対する監査委員の所感について